

第19回宇部・小野田圏域緩和ケア 事例検討会

切れ目のない緩和ケアを実施するために、地域の医療従事者が集い、
多職種による事例検討を行います。

今回は、急激な症状悪化で抗がん治療中止となり、療養場所の決定を迫られた終末期がん患者さんに対し、多職種協働で意思決定支援を行うことで、穏やかな看取りが実現できた事例を振り返ります。残された時間が少ない場合、より迅速な対応が必要になります。患者・家族が望む療養先・療養方法を選択でき、円滑に連携できるようにするためには、私たちはどのように取り組んだらよいのかについて考えていきたいと思えます。

ハピナス・エル訪問看護ステーションの野本喜代美先生にもお越しいただいて、地域での在宅緩和ケアについてご紹介をお願いしております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成31年1月9日(水)17:30～18:30(17:00受付開始)

場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1

(別紙会場案内図をご参照ください)

※お車でお越しの方は病院外来の駐車場をご利用ください。
駐車券は、無料パンチをいたしますので、会場までご持参ください。

参加費：無料 対象：医療関係者

17:30～18:30 演者より事例提示後、グループディスカッション

多職種協働で意思決定支援し穏やかな在宅看取りが実現
できた盲腸がん事例

山口大学医学部附属病院 看護部

兼安 惇史先生

ハピナス・エル訪問看護ステーション

野本 喜代美先生



お問い合わせ先：山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター事務局
Tel：0836-85-3070 FAX：0836-85-3071
E-mail：y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp

共催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター(平成30年第8回緩和ケアセンターセミナー)
山口大学医学部附属病院腫瘍センター(第99回腫瘍センターセミナー)
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム(平成30年第7回がん治療スキルアップセミナー)